

天草東南沿岸地域のビワの適地診断

農業研究センター 天草農業研究所

担当者：猪原健一・田中雅晃

研究のねらい

天草東南沿岸地域へのビワ振興の一環として幼果の寒害程度による適地診断を行なった。

研究の成果

- 1 本渡市：下浦町の戸の崎、金焼、石場、外園と志柿町の瀬戸の海岸から約500m、標高約40mまでは適地と考えられる。
- 2 牛深市：深海町の下平から久玉町の中浦までの海岸から約600m、標高約50mまでと下須島全島は適地である。
- 3 大矢野町：維和島全島が適地である。特に、海岸から約1,000m、標高約80mまでは最適地である。
- 4 松島町：樋合、永浦、前島の全島が適地で、阿村の平坦の住宅地を除く、海岸から約1,000m、標高約500mは適地である。
- 5 姫戸町：牟田から姫浦までの海岸線は適地である。
- 6 竜ヶ岳町：樋の島全島と高戸から大道までの平坦地を除く、海岸線は適地である。
- 7 倉岳町：宮田、棚底、浦の海岸から約800m、標高約60mは適地と考えられ、宮田の才津原、浦の尾串は適地である。
- 8 栖本町：古江の海岸から約800m、標高約60m適地である。川下の平坦地を除いて標高約40mまでは適地と考えられる。
- 9 新和町：大多尾の天附から小宮地の立の海岸から約800m、標高約80mまでと横島全島は適地である。
- 10 河浦町：宮野河内の女岳、本郷から上平までの約500m、標高40mまでと産島全島は適地である。

普及上の留意点

ビワの幼果は寒害に弱いので適地であっても防寒対策の必要がある。

図1 露地ビワの適地分布
(凍死率 30%以下)

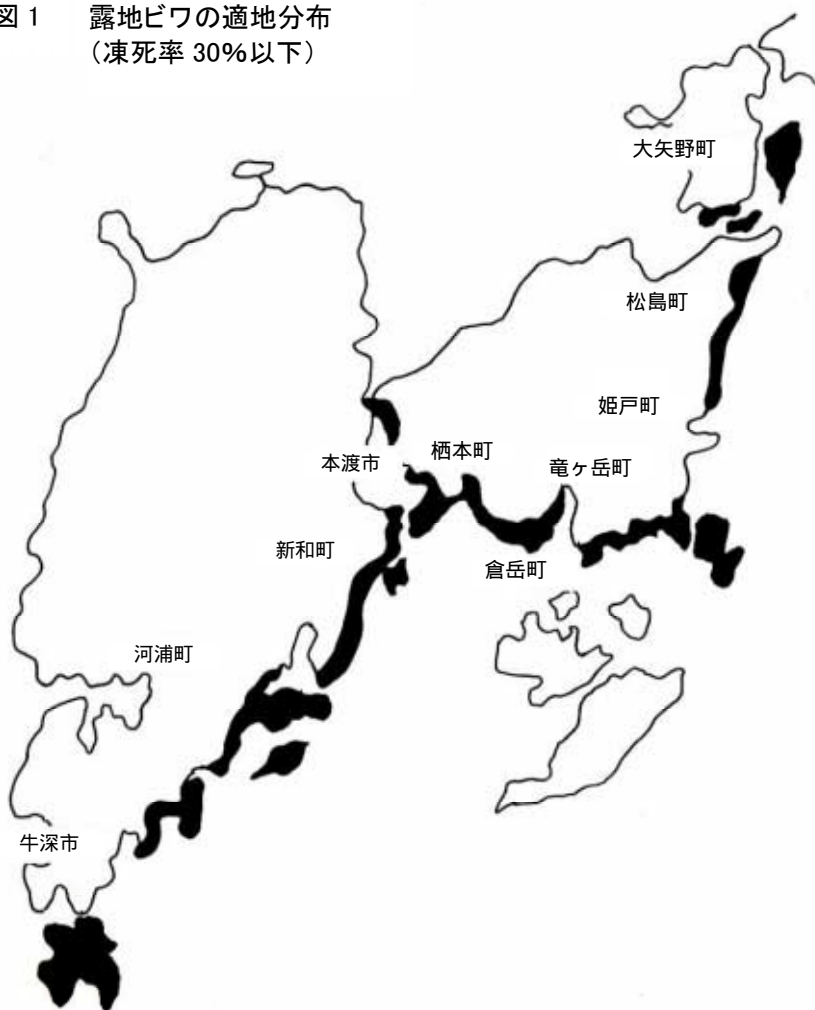


表1 海岸からの距離と凍死率 (m・%)

海岸からの距離 (m)	1~50	50~200	200~500	500~1,000	1,000~1,500	1,500~2,000
凍死率 (%)	29.0	15.9	26.3	44.6	68.2	60.7

表2 標高と凍死率 (m・%)

標高 (m)	1~10	11~20	21~30	31~40	41~50	51以上
凍死率 (%)	32.7	25.5	26.0	34.2	42.0	30.9

表3 方位と凍死率 (%)

方位	平坦	東	西	南	北	南東	南西	北東	北西
凍死率 (%)	53.6	25.1	8.9	36.2	25.2	14.6	28.5	17.7	10.0